



大分市医師会立 アルメイダ病院 総院長

山本 貴弘氏

連携で切れ目ない医療を提供

昨年6月、大分市医師会長としてアルメイダ病院の総院長に就任した。同病院は1969年に同市医師会の会員自らが設立。16世紀に西洋医学を日本に導入したルイス・デ・アルメイダの実践を受け継ぎ、人間愛の精神に基づいた医療を提供してきた。現在は3次救急体制を有する406床の病院へと発展。次の半世紀へ踏み出す中、バトンを受け継いだ。「市民の健康を守るために役立つことをやっ

ていく。行政とも連携しながら、切れ目のない医療を提供することが使命」と語る。自らも開業医であり、「医師会員の代表の医師が総院長を務めるのがいいところだと思っている。円滑な連携を図りたい」とほほ笑む。

地域のかかりつけ医や登録医との絆は深い。紹介率は80%を越えており、入院に特化した紹介型の病院は国が目指す姿とも重なる。会員医療機関と登録医療機

関は県南や豊肥地区を含めた228施設。中部医療圏の中核的な病院として、心筋梗塞・脳卒中などの心血管疾患、がん、糖尿病、急性期医療と災害医療に力を入れている。「地域支援病院の走りともいえる取り組みをやってきた。ニーズに加え、政策に合わせて発展できたのは、会員の支持があることが大きい」と話す。

特に、かかりつけ医では対応が難しい救急医療や、重症度の高い患者に対する医療、多様な診療科で地域からの期待は大きい。2019年4月から20年3月までの救命救急センター診療実績は患者総数が1万2032人、救急車搬送台数は2467台に上る。

医師会共同利用施設として、医療機器などの施設・設備の共同利用や共同診療を行う体制も整備。医療従事者の研究サポートや医学部生、看護学生などの教育実習といった未来の地域医療の担い手を育てる役割も果たす。

「よく『市民病院のような存在』と言われるが、身近に感じてもらえるのはうれしい。期待に応えられるよう、初心を忘れずに努力を続けていきたい」。地域に向けるまなざしは温かい。



地域のかかりつけ医・登録医と共に患者を支える

病院DATA

●診療科目

内科・内分泌内科・血液内科・循環器内科・消化器内科
心臓血管外科・外科・脳神経外科・呼吸器外科・血管外科
泌尿器科・産科・婦人科・放射線科・形成外科・整形外科・皮膚科
小児科・新生児内科・腎臓内科・麻酔科(岩坂日出男ほか)
救急科・リハビリテーション科・緩和ケア内科・精神科

●診療時間

平日／9:00～17:00 ※受診には予約と紹介状が必要

●休診日

土曜、日曜、祝日



大分市医師会立
アルメイダ病院

大分市大字宮崎1509-2

TEL097-569-3121

<https://www.almeida-hospital.com>

